

1 学年及び単元名 第4学年 「折れ線グラフ」

2 問題

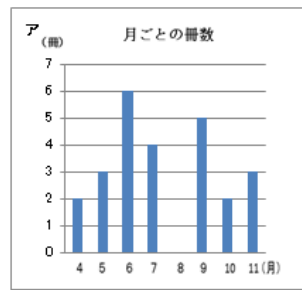
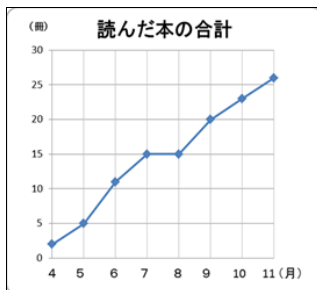
太郎さんは、4月に、「今年は、図書室の本を50冊以上読む」という目標を立て、毎月末に、読んだ本の合計を折れ線グラフに記録しています。

① 9月は、何冊読みましたか。

また、9月までの合計は何冊ですか。

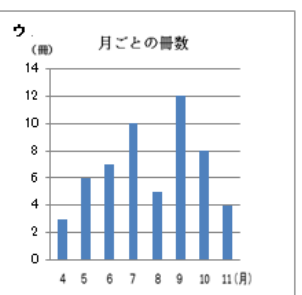
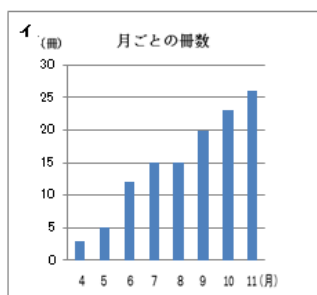
9月に読んだ数 []

9月までの合計 []



② 「読んだ本の合計」の折れ線グラフから読んだ数が一番多かった月がわかりました。それは、何月でしょう。

また、その理由を書きましょう。



③ さらに、月ごとの読んだ数を棒グラフにしてふり返りました。太郎さんのグラフは、ア、イ、ウのうちどれでしょう。

また、その理由を書きましょう。

3 ねらい及び活用のポイント

- ・単元末にグラフの見方を深めるために行う。
- ・グラフを読むときは、グラフにする意図があることを確認する。
- ・グラフを構成する要素のうち、「題目」と「縦軸」を関連づけた見方を確認する。
- ・学校に応じて異なるが、「太郎さんの課題は何でしょう。」と問い、太郎さんの事例を通して、夏期休業中の図書室の利用について考えることもできる。

4 考え方

① 折れ線グラフは、月ごとの読んだ本の数ではないことに気付くために、設問①を考える。本設問を考えることで、本題の理解につながるので、机間指導で気付かせたい。

答え [9月に読んだ数 5冊、9月までの合計 20冊]

② 読んだ本の合計の増加の具合は、傾きでわかる。傾きが大きく増加が大きいのは、5月末から6月末、つまり6月に読んだ本の数が多いことが分かる。

答え [6月] [折れ線グラフのかたむきが(右に)一番大きいから。]

③ 折れ線グラフはこれまでの合計(累計)が分かる。では、「毎月読んだ数はどうだったかな？」を振り返るために、棒グラフが有効であるという文脈を押さえる。折れ線グラフの見方として、傾きが0ということは何を表しているか、なぜそうなったかを確認する。折れ線グラフと棒グラフの、目的の相違に気付くことがねらい。理由にその旨が書かれていれば正解とする。

答え [ア] [折れ線グラフを見ると、8月の合計が増えていないので、8月は0冊ということがわかる。そのことを表す棒グラフはアだから。]

問 題

折れ線グラフ

太郎さんは、4月に、「今年は、図書室の本を50冊以上読む」という目標を立て、毎月末に、読んだ本の合計を折れ線グラフに記録しています。

- ① 9月は、何冊読みましたか。また、9月までの合計は何冊ですか。

9月に借りた数 冊

9月までの合計 冊

- ② 「読んだ本の合計」の折れ線グラフから、読んだ数が一番多かった月が分かりました。それは、何月でしょう。 月
また、その理由を書きましょう。

- ③ さらに、月ごとの読んだ数を棒グラフにしてふり返りました。太郎さんのグラフは、ア、イ、ウのうちどれでしょう。
また、その理由を書きましょう。

